

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	高齢者に対する大腸 ESD の治療成績と死亡予測因子の検討
研究責任者 (所属科名)	永田信二 消化器内科 主任部長/副院長
本研究の目的・意義	<p>高齢者に対する大腸内視鏡的粘膜下層剝離術 (ESD) が有効であるという報告はいくつかありますが、適応病変に対する処置の完遂や術中合併症の頻度を評価した成績のみで、長期予後や適応判断に関する報告は少なく十分な知見は得られていません。近年、高齢者の患者様に内視鏡治療を行う機会が増加していますが、実臨床における大腸 ESD の適応は、身体・認知機能・併存疾患・栄養状態など患者背景の問題から判断に難渋することが多いです。</p> <p>【目的】高齢者に対する大腸 ESD の治療成績および死亡の予測因子を明らかにすることです。</p> <p>【対象と方法】2007 年 1 月から 2018 年 12 月までに当院で 75 歳以上の高齢者に大腸 ESD を施行した 207 例を対象とし、(検討 1) 患者背景・治療成績・予後を検討します。(検討 2) 患者全身状態の評価尺度として、Body Mass Index (BMI)、Prognostic Nutritional Index (PNI)、Charlson Comorbidity Index (CCI) を評価し、予後予測因子としての有用性を後方視的に検討します。非治癒切除は、大腸癌治療ガイドライン 2022 度版で追加外科切除が強く推奨される垂直断端陽性症例、または追加腸切除が弱く推奨される症例 (T1b、脈管侵襲陽性、組織型 por/sig/muc、簇出陽性) としました。</p>
調査方法・研究期間	<p>後ろ向き観察研究</p> <p>データ収集期間：2007 年 1 月から 2018 年 12 月</p> <p>研究期間：2024 年 3 月までを予定しています。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>上記期間の間に当院で大腸 ESD を施行した 75 歳以上の高齢者の患者様 (195 名, 207 症例)</p> <p>★利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある以下の診療記録、検査データ等を利用しま</p>

	<p>す。</p> <p>患者様背景、短期治療成績・長期予後等</p>
個人情報の取り扱い	<p>利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報 は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、 その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。</p>
共同研究機関	<p>当院単独で行う臨床研究ですが、治療後より経過の追えない患者様に 関してかかりつけ医に問い合わせを行う場合がございます。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>広島市立北部医療センター安佐市民病院 研究担当者：消化器内科 部長 朝山 直樹 電話：082-815-5211</p>
備考	